



日本橋梁建設土木施工管理技士会

1. 概要

本会は、主に鋼橋(鉄の橋)の製作・架設・維持補修を行う、北は北海道から南は九州までの32会員会社の社員により構成されています。会員数は約3400名です。

2. 組織構成

理事13名、監事2名、評議員15名で企画立案した議案に基づき、徳山貴信会長、入部孝夫副会長、小林雄紀企画広報委員長、佐々木利光副委員長、駒井寛教育安全委員長、金本真一副委員長、武石和夫事務局長、寺西功部長等が執行運営しています。

3. 主な年間活動

①一級土木施工管理技士受験講習会：大阪、東京共に3日間コース、テキスト代込みで会費1万円と格安！主な講師は会員会社の委員が自前で担当。

②橋建技士会通常総会 6月(東京)：過去の特別講演には早稲田大学 依田照彦先生や宇宙航空開発機構(JAXA)加藤學教授「かぐや(月面探査衛星)」を、今年度は技士会連合会 谷口博昭会長に「橋梁建設の技術経営」の講演を願いました。



JAXA加藤學先生による「かぐや」の講演会

谷口技士会連合会長の特別講演

南極に上る“満地球”

③『橋建技士会だより』の発刊 10月：下保橋建協副会長等の巻頭言、ベテランから若手技術者、活躍する女性社員の声を掲載。32ページのカラー版。

④橋梁現場研修会 11月：新湊大橋(富山県：斜張橋)、白銀橋(夕張市：アーチ橋)

等全国で注目する鋼橋架設現場で研修、今年度は震災で流出し



福島県逢隈(おおくま)橋現場研修会

た新北上大橋の復旧工事(宮城県)を見学の予定。

⑤技術論文技術報告の提出：特に今年度は会長方針により、数多くの論文・報告を提出する活動を実施中。

⑥若手技術者向けの鋼橋技術講習会2月(東京)：築地大橋の施工、ニャットン橋(ベトナム斜張橋)、橋の維持管理とポンチ絵等、若手向けにノウハウを伝授。今まで受講した講習会の中で、一番分かり易く、とても楽しかったとの感想を沢山の方よりいただきました。

4. ロケーション

事務所は新橋駅から徒歩7分、近くには「日比谷公園」があり、昼休みにお弁当を食べに行けばピクニック気分です。毎週金曜日には森ビルのランチタイムコンサートに行くと、若手音楽家による生演奏が楽しめます。最近話題



日比谷公園でお花見



の「虎ノ門ヒルズ」など名所・旧跡などが多数点在し、散策には事欠きません。

屋上から見た虎ノ門ヒルズ